

3,055 TEU コンテナ船

- WAN HAI 321 -

3,055 TEU Container Ship



設計本部 設計統括部

また、MAN-B&W 最新デザインとなる電子制御エンジン Mark10.5 の採用、冷却海水ポンプのインバーター制御の採用によりさらなる燃費性能を向上させており、温室効果ガス排出規制であるエネルギー効率設計指標（EEDI）に対しては 2022 年以降の契約船に適用される予定である Phase 3 レベル（リファレンスラインから 30%以上削減）を先取りして満足した。

1. はじめに

本船は当社が新規に開発した、ホールド内 12 列 x 6 段、デッキ上 14 列 x 7 段のコンテナを積載することができる 3,055TEU コンテナ船 8 隻シリーズの 1 番船である。WAN HAI LINES (SINGAPORE) PTE LTD 殿向けに建造され、2020 年 9 月 18 日に呉事業所にて引き渡された。以下に本船の特徴を紹介する。

2. 本船の特徴

2.1 コンセプト

アジア発着及びアジア域内での海上輸送量の増加に伴い、中長距離の定期航路への投入が想定されるフィーダーコンテナ船には高い積載能力が求められる一方で、定時運航を可能とする高い航海性能も求められる。本船は当社技術を駆使し両性能を高いレベルで実現し、従来船に比べ環境性能と運航性能を著しく向上させた新船型船である。

2.2 幅広船型

他社建造船（Panamax 幅船型）に比べ幅広船型にすることで、復原性能が大幅に改善しコンテナ積載時のバラストが不要になり、コンテナ積載数を大幅に増加させた。さらに block coefficient（方形係数 C_b ）の減少と最新の解析技術により推進性能を大幅に向上させることに成功した。

2.3 省エネ船型・省エネ装置

最新の解析技術による低抵抗・高効率を追求した幅広最適船型を開発し、併せて、当社独自の省エネデバイスである LV-Fin, ALV-Fin®の最適化により、従来船に比べ大幅な燃費削減を達成した。

2.4 航海支援装置

INS（Integrated Navigation System, 統合型航海システム）及び全天候型ブリッジの採用により航海中及び離着岸時の操船の利便性/安全性の向上に加え、CCTV カメラシステムを装備し、航海支援・機関室内監視等によって安全性も向上させた。

また、各種モニタリングなどスマートテクノロジーを備える船舶に付与される DNVGL Smart Ship Notation を日本で建造される船舶において初適用した。

3. おわりに

本シリーズ船は既に 4 隻が就航し運航者殿から高い評価を得ており、現在も呉事業所では、後続船の竣工に向け、建造が鋭意進められている。今後も新技術の開発に取り組み、経済性・環境性に優れたコンテナ船を建造して参ります。

表 1 本船主要目
Table 1 Principal particular

全長	203.5 m
型幅	34.8 m
型深	16.6 m
喫水	11.5 m
載貨重量	37,160 t
主機関	7S70ME-C10.5
船級	DNVGL
船籍	Singapore